

問題2-2 「自分のカフェを人気のお店にしたい」

【解答】 4

【解説】 数学モデリングにおける「ゴールの明確化」では、曖昧な目標を具体的(Specific)で測定可能(Measurable)な指標に落とし込むことが重要である。また、複数の重要な要素のバランスを考慮する必要がある。

選択肢1（不正解）：これはゴールそのものではなく、ゴールを達成するための「手段」や「アクションプラン」である。ゴールの明確化とは、これらのアクションが成功したかどうかを判断するための基準を設定することを指す。

選択肢2（不正解）：売上（S）のみを追求すると、費用（C）を度外視した過剰な広告や、サービスの質を犠牲にした無理な客数増加につながる可能性がある。その結果、利益（P）が減少したり、顧客満足度(A)が低下したりするリスクを考慮できていない。

選択肢3（不正解）：「体験価値」は定義が非常に曖昧であり、客観的に測定することが困難である。また、「すべてのお客様の」価値を同時に最大化することは、現実的には不可能である。ゴールは、誰もが同じ基準で測定できる指標でなければならない。

選択肢4（正解）：この選択肢は、「人気のお店」という概念を「経営の持続性（利益(P)）」と「顧客からの評価（満足度（A)）」という2つの重要な指標に分解している。さらに、それぞれに「25万円以上」「4.0点以上」という具体的で測定可能な目標値を設定している。これにより、目標達成に向けた施策（例：客単価向上策、接客改善）の効果を客観的に評価できるようになる。ビジネスの成功において重要な要素をバランス良く組み合わせた、最も優れたゴールのモデル化といえる。

選択肢5（不正解）：SNSのフォロワー数は、お店の認知度を示す一指標ではあるが、必ずしも利益や顧客満足度といったビジネスの本質的な成功に直結するとは限らない。このような、本質的なゴールと直接的な因果関係が薄い指標を「虚栄の指標（Vanity Metric）」と呼び、これのみを追いかけるとは、リソースの誤った配分につながる危険性がある。